

# 桑名文化協

平成24年9月20日  
第 32 号  
桑名市文化協会  
桑名市中央町2丁目37  
TEL 24-1361  
<http://bunkyo-kuwana.jp>

## 発足二〇年にあたって

桑名市文化協会 会長 水谷 正



桑名市文化協会も今年で発足以来満二〇年を迎えました。これまでの歴代の会長さんをはじめ役員の皆様のご尽力や会員すべてのメンバーのご努力によって、活動が続けられておりますことに心から感謝申し上げます。

しかし、会員の高齢化やご希望の多様化によって、なかなか運営も難しくなっていることも確かです。私たちは県内外の市町の文化協会と交流を深め、いろいろな実践事例を参考にさせていただいて、皆様のご要望に応え一層元気で楽しい組織になるように努めております。

文化協会は、文化芸術分野で活

動をしている団体や個人が多く参加する事は当然ですが、他所の文化協会の例を見ると、さまざまな調査・研究をしている方々、町づくりや地域活動をしている方々、食育などで食文化に関係している方々、旅行などで観光に関心のある方々なども加盟しておられる例が見られます。私たちも文化活動をこのように幅広い視野から参加していただくことが大切ではないかと思えます。

また、文化活動を「演ずる、創作する、実践する(「Do・Play」)する方々に加えて、文化活動を「見る、鑑賞する(「Watch」)する方々も広く参加できるようにしていきたいものです。体育・スポーツの分野では、プロでもアマでも、少数の選手が演じている競技を、とりまくサポーターと大勢の観客が批評しながらも応援をするというシステムで、オリンピックのよう

な盛り上がりが見えてくるのです。文化施設の面では、これまでいろいろ充実していただきましたが、それでも他市と比べてみると展示の専門的施設や、人口一人当たりの施設数では、まだまだ弱点をもっていると思いますので、施設の充実をめざして働きかけをする必要も感じております。

今年度は、特に二〇年の記念事業として、新潟県柏崎市の文化協会との交流を計画しております。桑名と関係が深い柏崎でおこなわれているさまざまな文化活動を視察・見学させていただき、楽しい市民の活動の参考にしていきたいと期待しています。皆様のご協力をお願いいたします。

## 二十周年を

### 迎えるにあたって

副会長 今村 和子



第一回の市民文化祭を開催するにあたり、市内の文化団体の代表が集められたのが今から二十年前

でした。その後、行政主導の団体ではなく、民主導の桑名市文化協会が設立されました。

初代会長に故佐藤勤三氏が就任され、文化のジャンルで部門を分け桑名市文化協会が桑名市民芸術文化祭の主管団体として動き出しました。

色々なジャンルの団体が一つになつて活動していく事はなかなか大変で、はじめの内は理事会での意見交換もたいへんなこともあったと記憶しております。

徐々に各部門間での理解も生まれて、夫々認め合つて活動できるようになりました。

その後十周年(吉之丸コミュニティパークでの総合文化祭)・十五周年(童門冬二先生による講演会)と記念行事を開催してまいりました。

今年二十周年の記念すべき年になりました。

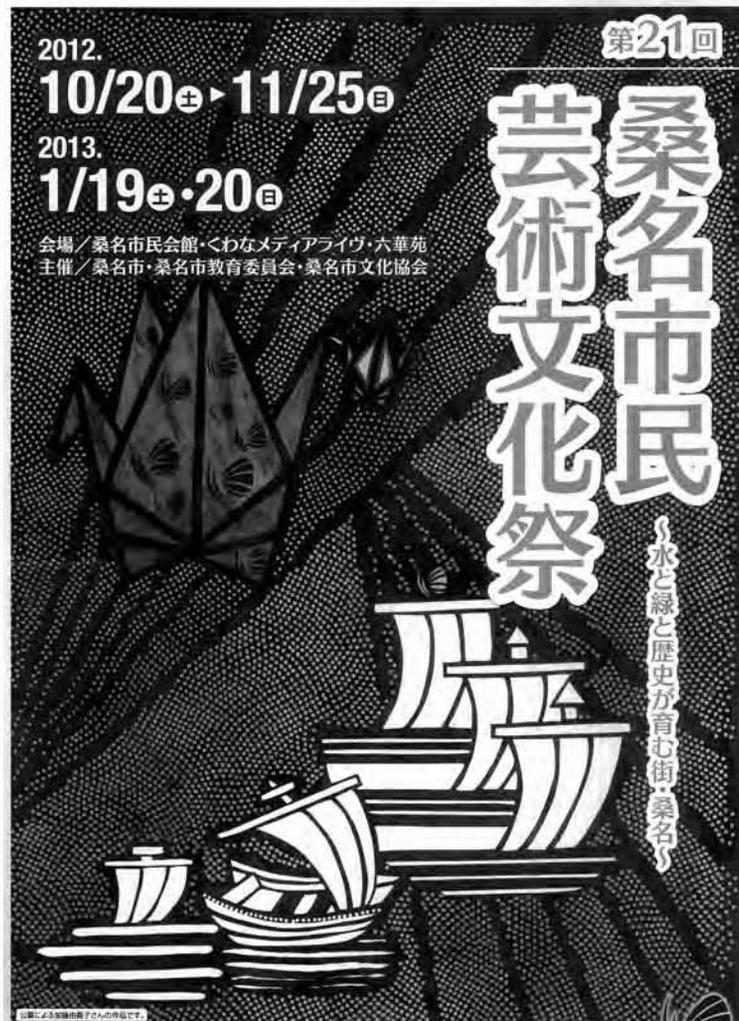
今までと同じように準備委員会を組織し副会長三名と理事より数名出でいただいで運営していくことになりました。

現在、案を出し合つて準備しております。会長からも色々な案を出していただいております。

この二十周年を契機に参加団体等の増加と、更なる二十年・五十年と続いてくれることを願っております。

# 第21回 桑名市民芸術文化祭

## プログラム



新春六華苑祭 [会場]六華苑 [日時]2013年1月19日(土)・20日(日)  
[主催]桑名市文化・スポーツ振興公社 桑名市文化協会

### ●協賛事業

10/13(土)・14(日) 13日 14時～、18時～ 14日 11時～、14時～	劇団すがお第82回公演 「両家の言い分—結婚式の場合」 劇団すがお 稽古場
10/28(日) 15時～	シャンテ・クレール 第24回 定期演奏会 桑名市民会館 大ホール
11/24(土)・25(日) 24日・25日 10時～、13時～	桑名 六華苑 秋の舞楽会 六華苑

10/20(土)・21(日) 20日 9時～17時 21日 9時～15時	趣味教養祭 桑名愛石会第34回水石展 くわなメディアライヴ 多目的ホール
10/20(土)・21(日) 20日 小中学生将棋大会 10時30分～19時(受付 9時30分) 21日 一般将棋大会 10時30分～19時(受付 9時30分)	趣味教養祭 小中学生将棋大会 一般将棋大会 桑名市民会館 大会議室
10/20(土)・21(日) 20日 ファッションショー 14時～15時30分(開場 13時30分) 21日 作品展示 9時～16時	くわコレ'12 ファッションショー 桑名市民会館 小ホール 作品展示 桑名市民会館 展示室
10/27(土)・28(日) 27日 9時～17時 28日 9時～15時	趣味教養祭 彫型画、パッチワーク、きもの・礼法 桑名市民会館 展示室
11/2(金)・3(土・祝) 2日、3日 10時～16時	華道 市民会館 展示室、大会議室
11/3(土・祝) 10時～15時30分	茶道 六華苑 一の間:煎茶松風流 離れ屋:松尾流 市民会館 和室:裏千家
11/4(日) 9時30分～17時(開場 9時)	吟剣詩舞道の祭典 桑名市民会館 小ホール
11/4(日) 9時30分～12時30分	小倉百人一首 初心者かるた取り大会 六華苑 一の間
11/11(日) 13時～17時(開場 12時30分)	音楽のフルコース 桑名市民会館 小ホール
11/17(土)・18(日) 17日 13時～16時(開場 12時) 18日 10時～16時(開場 9時30分)	芸能の祭典 日本舞踊、箏曲、民謡・大正琴など 桑名市民会館 大ホール
11/17(土)・18(日) 17日 12時～16時 18日 9時30分～16時	桑名の千羽鶴や石取祭 そしてKICECの活動紹介 桑名市民会館 大ホールロビー
11/22(木)～25(日) 22日 12時～16時30分 23日・24日 9時～16時30分 25日 9時～16時	美術部門展 絵画、書道、写真、美術工芸、 彫刻など くわなメディアライヴ 多目的ホール
11/23(金・祝)～25(日) 23日 18時～19時30分 (開場 17時30分) 24日・25日 昼の部 13時30分～15時 (開場 13時) 夜の部 18時～19時30分 (開場 17時30分)	演劇集団Cブレンド 第8回公演 「マリッジ・ブルー？」 桑名市民会館 小ホール
11/25(日) 13時30分～17時 (開場 13時)	ダンス、DE, パフォーマンス2012 フラメンコ、モダンバレエ、 ジャズダンス 桑名市民会館 大ホール
2013年3月発行 「桑名文協」	「文芸」作品掲載 各公民館・センターに設置予定

# 市民芸術文化祭へのお誘い

## 幸せをおすすめ分け

演劇部門(演劇集団Cブレンド)  
相原 千景



今回の文化祭で、演劇集団Cブレンドは、結婚式場を舞台としたオリジナル作品「マリッジブル?」を上演します。上流社会を大安吉日一同じ時間に行われる三組の結婚披露宴の入り退場を取り仕切る若きチーフは、三組も披露宴を同時に回すのは今回が初めて。それなのに、それぞれのカップルが細かいことで揉めまくる。こんなんで、三組ともめでたくお開きを迎えさせることができるのか。11月23日(金・祝)〜25日(日)の5ステージ。場所は、桑名市民会館小ホールです。団員一丸となって張り切って準備をしています。

結婚式にはドラマがいっぱい。ご自身の結婚式を経験された方は、きっと共感していただけるでしょう。それに、結婚式の主役はなにも、花嫁花婿、そのご両親だけではありません。兄弟姉妹の結婚、親戚のお姉さんの結婚、友人の結婚……参列者それぞれに、それぞれの思惑があつて、それぞれのドラマがあるのです。他人が見たら、あるいは自分でも後になって思い返したら、どうでもいい、しょうもないことなんだけど、そのとき当事者は切実。その滑稽さを、愛をこめて描いたコメディです。結婚式場の舞台裏のド

タバタを、十代二十代の若い役者たちが、元気に楽しく演じます。見に来ていただいた方に、幸せな気持ちになって帰っていただくことが、この公演の目標。小ホールを結婚式場さながらの幸せ空間に創りあげてお待ちしております。

## ダンス・D.E. パラフォーマンス 2012

武者真理子

11月25日(日) 13時30分より、市民会館大ホールにて、華麗な舞踊の発表を行います。

モダンバレエキッズは、今年で創立十九周年を迎えます。

子ども達は小学生から高校生以上の子まで、さまざまな年齢ですが、「踊ることが好き」という共通点でつながり、日々仲良く練習を重ねています。

一人ひとりが、真剣に誠実に教えてもらったことを何度も繰り返し、上達をめざしています。

そして群舞は、それぞれの動きが集団として美しく一つにまとまるよう、子ども同士で教え合いながら楽しくレッスンしています。

この良き晴れの舞台を務めさせていただけることを、大変光栄に思っています。モ



ダンバレエキッズは皆様の声援により、成長してきました。子ども達の元気に踊る姿をどうぞ御一緒に心ゆくまで、お楽しみ下さい。

## 「音楽のフルコース」へのお誘い

音楽部門(桑名弦楽合奏団)

竹村 一雄

今年の「音楽のフルコース」は11月11日(日) 13時から、昨年と同じ桑名市民会館小ホールで開催されます。

今回はいつものメンバーに加え、新しく入会した個人(ドラム、ハーモニカ)が初めて参加し、これまで以上にバラエティーに富んだコンサートになります。

音楽部門は、個人九名と十七の団体で構成され、さまざまな楽器・歌の独奏(独唱)から大編成まで、いろいろな音楽に取り組んでいます。

この市民芸術文化祭は、桑名で活躍する多くの「音楽家」の奏でる音楽を一度に聞けるというまたとない機会です。

今回のコンサートも、軽音楽、映画音楽、童謡、唱歌、世界の名曲からクラシックまで、よく知られた曲が満載、普



通のコンサートに比べると少々長いですが、「音楽のフルコース」の名前の通り、最後まで飽きることなく楽しんでいただけます。

お客様と出演者が一体となって楽しめるコンサートになるよう、メンバーは早くから練習に励んでいます。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

## 新春六華苑祭への誘い

副会長 荒木 敏文

第八回新春六華苑祭は、1月14日・15日の二日間、文化協会会員四百名余の協力のもと、盛大に開催することが出来ました。当日は、天候に恵まれ、多くの市民の来苑があり、主催者として、お礼申し上げる次第であります。

さて、六華苑は、今年で創建百年を迎えました。桑名の実業家二代目諸戸清六氏の邸宅として、大正二年(一九一三年)に完成し、揖斐川・長良川を望む約一八、〇〇〇㎡の広大な敷地に、洋館と和館、蔵などの建造物群と日本庭園を建設しました。その中でも洋館部分は、鹿鳴館の設計で有名なイギリス人建築家ジョサイア・コンドルが設計を手がけておりまして、また、平成九年に、洋館および和館が国の重要文化財に指定され、平成十三年には日本庭園が国の名勝に指定されました。

このように、市民の皆様のご貴重な文化遺産である「六華苑」で、来年1月19日・20日に第九回新春六華苑祭が開催できますことは、文化協会会員にとりまして、大変な喜びであると思っております。

創建百年にあふわしいイベントとなる第九回新春六華苑祭において、会員一同の日頃の精進と稽古を披露する場となるような事業を展開し、ご来苑の皆様とともに、お祝いしたいと思います。

ご来苑お待ちしております。

## 平成 24 年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

団 体 名	事 業 名	開 催 期 日
桑名弦楽合奏団	桑名弦楽合奏団 第 27 回定期演奏会	24.4.22
多度雅楽会	桑名六華苑 春の舞楽会	24.5.19 ~ 5.20
ぐるうぶ雑創	第 31 回 ぐるうぶ雑創展	24.8.15 ~ 8.19
桑名吹奏楽団	桑名吹奏楽団 第 39 回定期演奏会	24.9.16
幼大正琴協会 琴修会名古屋中央支部 長島町あすは	琴修会名古屋中央支部ミニライブ in 長島	24.9.30 ~ 10.1
華道家元池坊桑名支部	いけばな展	24.10.13 ~ 10.14
桑名能楽連盟	能に親しむ・桑名能楽連盟発表会	24.10.28

この中から 3 部門の方々に活動紹介をしていただきます。

### 桑名弦楽合奏団 第 27 回定期演奏会 盛大に開催!

音楽部門(桑名弦楽合奏団)  
鷲野高明



平成 24 年、4 月 22 日、桑名市民会館小ホールにおいて、桑名弦楽合奏団第 27 回定期演奏会を開催しました。今回は「音楽の父」として最も有名な作曲家であるヨハン・セバスティアン・バッハの作品を集めたプログラムとしました。また、出演者には地元桑名市で活躍するフルート奏者や声楽家など総勢六名のソリストをお招きし、当団の弦楽合奏との共演をお楽しみいただく内容としました。演奏会当日は朝からの雨で集客が心配されましたが、結果的に小ホールの三百席は満席となり、来場者にはいろいろな楽器によるバッハの音楽を満喫していただきました。堅いイメージのバッハの音楽も、演奏や紹介のしかたによって違った楽しみ方ができることを示せたものと自負しております。

さて、当団の活動内容は、ホールで本格的な演奏を披露する年一回の「定期演奏会」と、公民館などを回って音楽を紹介する「地域巡回コンサート」の二つを柱としています。本年は巡回コンサート二十周年を記念して、9 月から 12 月まで

の間に、桑名市内二カ所を含む県内七カ所で開催します。皆様にはご都合の良い会場へぜひお気軽にお越しいただきたいと思っております。

当団は「地域に密着した音楽活動」をモットーとして、今後も多くの人々に生の音楽を楽しんでいただけるような活動を続けてまいります。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

### 「春の舞楽会」と終え

芸能 I 部門(多度雅楽会)  
田中松緑

毎年春秋に六華苑にて「舞楽会(ぶがくえい)」を開催して、本年で早、八年目となりました。雅楽に由来のある桑名の新たな伝統として、本格かつ最大十曲を毎回上演しています。

今回も天候に恵まれ、華麗な走舞(はしりまい)「陵王」、勇壮な武舞(ぶのまじゆ)「散手(さんじゆ)」、子供たちによる「胡蝶」と「納曾利(なそり)」、桑名立教館の打球戯(たきゅうぎ)の源流「打球楽(たきゅうらく)」、虫封じを伝える「甘州(かんしゅう)」、幾何学模様の面が面白い「蘇利古(そりこ)」などを上演しました。



継続は力なり。会員は、様々な舞楽装束の着付けを習得し、招待した楽師から高い演出力を学び、何度も上演する機会を経験することで、一人前の楽人になっていきます。

国名勝庭園に四周四方の舞台を作り、洋館テラスから舞台まで赤絨毯を敷き、左右の太鼓を具えて、豪華絢爛な装束の舞の美を高めることが基本です。その組立てと解体には費用と労力が必要のため、助成金でご支援いただき感謝しております。

### いけばな池坊展

茶華香道部門(華道家元池坊)  
堀場壽子

池坊は、京都東福寺の歴史記録書「碧山日録」に、その名を書き記されて以来、今年で五五〇年という節目を迎えられました。池坊桑名支部は、この記念すべき「池坊五五〇年祭」にあたり、来る 10 月 13 日、14 日の両日、市民会館大ホールロビーにて、いけばな展を開催致します。

現代日本は、様々な面で急激な変化を遂げており、時間の流れ、生活空間、人との関わり方など、日本人の価値観が大きく変化してきています。それに伴い、日本文化のあり方もまた変わろうとしています。池坊は、その時代ごとの変化を柔軟に受け入れ、対応することで、未来へ続く道を見据える努力をしています。この度の花展では、先達が築き残した池坊の伝統的花形である正風体立花・生花に加え、「今」の池坊が生み出した新風体立花・生花、さらに斬新な感覚と技法を取り入れた自由花などを展示いたします。

悠久の時代の流れの中で継承されてきた心と技を花に託した「いけばな」百瓶を、多くの皆様にご高覧いただければと願っております。

# この流儀紹介

## 志野流香道

### 香りを楽しむ

茶華香道部門(志野流香道)

近藤 ゆう

香道は、室町時代の東山文化のなかで、茶道・華道と並び体系化された芸道の一つです。

香道とは、自然の香木を使い、名木に名をつけた名香を聞く(香道では、香りを嗅ぐことを聞くという)鑑賞や、組香があります。組香は、二種類以上、数種の香木を用いて、同じ香りか違う香りかを区別する競技です。古典文学や、



四季の様子などから作られています。

志野流香道桑名教場は、昭和25年開設され現在に至ります。

桑名市民芸術文化祭には、毎年に参加して席を開いています。

22年2月には、文化庁生活普及支援事業に参加して、伝統文化親子教室桑名を開催しました。

香りを楽しむ会の開催の時は、ご参加をお待ちしております。

# この技紹介

## 私達の勤める孔版画

美術部門(精義孔版画アートの会)

松井 勝

簡易印刷器謄写版は、トーマスエジソンが発明する。(明7年)

滋賀県の堀井親子がエジソン型を日本伝統の染物をヒントに国産事務用印刷器を世に出す。(明27年)

明治期、文明開拓に乗った発明が、官庁、学校、商社、新聞通信社と需要は増大した。

大正期、デモクラシーに乗った文芸活動や生活の糧に筆耕の職を得て生活を助ける人が多く出た。

昭和期、謄写技術発展と普及のための学校、講習会が各地で多く

開かれる。教師、官吏人は筆耕が必須でした。

学校で、役所で、実務文書の作成に貢献した。その後タイプ孔版への移行があり、続けてトリーシャファクス、RISOグラフが出て急速に謄写版は衰退する。

一方毛筆謄写版があった。エジソンの発明より2年前、堀井親子が鉄筆版謄写を開発すること6年前からあった。

前時代の毛筆社会からの移行で、文筆文章が大量に刷れる毛筆謄写版は明治、大正、戦前昭和期、便利な印刷器として扱った。

小回りのできない毛筆謄写は戦後実用でなくなっていた。

しかし現在、毛筆原紙による第4版画形式としての孔版は多色刷り美術印刷へと、材質・技術の向上によって、全国に愛好者は広まっている。



## 第二十二回

### 桑名市民芸術文化祭

## ポスター入賞者表彰式

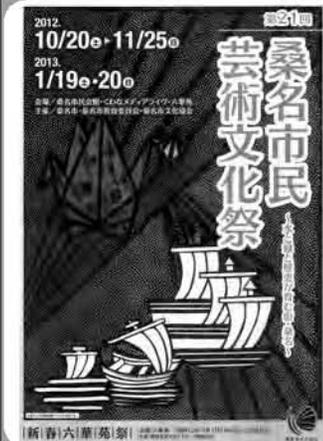
今年度の文化祭ポスター原画市長賞には、市内在住の加藤由貴子さんが選ばれました。伊勢型紙で桑名と文化協会をイメージしたすばらしい作品です。

佳作には、市内在住の西山佳那さんが選ばれました。

8月1日(水)に表彰式を行い、教育長と水谷会長に表彰していただきました。



前列左から加藤由貴子さん、西山佳那さん  
後列左から大橋教育長、水谷会長、今村副会長



# 桑名地名あれこれ(7)

いまいしき  
今一色の神明さん

社会文化部門  
(個人会員)

大河内 浩

桑名市民会館を北へ、八間通を渡った北方一帯から太一丸諸戸邸、また桑名城惣堀の西側にある寺町通を含め、今一色と称します。江戸時代初期の桑名市街慶長町割りから約三〇年後の、寛永八年(一六三一)に今一色新田開発の古記録が見え、惣堀から東(桑名城側)の各町が内町(うちまち)と呼ばれたのに対し、今一色各町は俗に外町(そとまち)と呼ばれました。このうちの一つの町である堤原は、新田開発以前の古い地名「三崎の島・堤の原」が町名となったもので、町内には北桑名総社北桑名神社があります。垂仁天皇十四年(前一六)勸請という古い神社で、中古この地へ遷座されて江の奥(これもこの辺りの古地名)神明社と呼ばれていたものが、新田開発後は、今一色神明社として崇められてきました。壬申の乱に際し持統天皇が暫くお休みされた旧地とされ、同じく帝の天武天皇がお休みになった天武天皇御旧跡も市内の東鍋屋町にあります。

石取祭で有名な春日神社の旧地で御神庫だけを残したことが町名の由来の宝殿町にあった延喜式内佐乃富神社が、明治四十一年(一九〇八)に、この今一色神明社へ合祀されています。その御神宝は宝殿町と堤原を二回り半もする行列の夥しい数であったと言われますが、全て戦災で焼失しました。同じく戦災焼失で土台石だけとなっていた神社総門が、今年五月に再建され奉祝行事が行われました。



持統天皇御旧跡の標石も立つ、総門が再建された北桑名総社北桑名神社

御賛助いただいております

## 特別会員の皆様

(五十音順)

9月1日現在

- 医療法人誠会 山崎病院様
- お菓子処「和」様
- カネソウ株式会社様
- 株式会社 ケイティエンジニア様
- 株式会社 山王鉄工所様
- 株式会社 東和様
- 株式会社 水谷精機工作所様
- 株式会社 レイステージ桑名様
- 桑名信用金庫様
- 在日本大韓民国民団三重県桑名支部様
- 茶道具 山水園様
- 中央不動産株式会社様
- 辻内鋳物鉄工株式会社様
- 兎月堂様
- 花新江場中店様
- 花乃乃舎様
- 光精工株式会社様
- 三重精機株式会社様
- 森田フードシステム株式会社様
- 有限会社 茶茂様

日頃のご協力に対しまして、深くお礼申しあげます。

(9月1日現在)

## 平成24年度新入会員の紹介

- 廣山 ミチ代  
個人会員(美術・染色工芸)
- 城田 吉孝  
個人会員(社会文化・郷土史)
- オカリナ「くわな〜も」  
代表 伊藤 清美(音楽・オカリナ)
- ハーモニカ・モニカーズ  
代表 藤井 弘(音楽・ハーモニカ)
- 安倭民謡竜鳳鼓謡会美湖滋社中  
桑名教室  
代表 安倭 美湖滋(芸能・民謡)

## 編集後記

暑かった夏も過ぎ、今年も文化芸術の秋を迎えます。一年そしてまた一年と季節を送る中で、連続として、郷土桑名を、文化の香り高い町として伝えたいける一助になるよう願って、今号も広報委員一同編集に励み、ここにお届け致します。本誌がより多くの人達に愛読され、会員増強・拡充につながるよう希望しております。

(大河内 浩)

- 広報担当副会長 中山 雅幸
- 委員
- 文学部門 高橋フクミ
  - 美術部門 松井 勝
  - 音楽部門 菅原 真治
  - 芸能I部門 渡邊 法子
  - 芸能II部門 尾崎三千男
  - 芸能III部門 武者真理子
  - 演劇部門 相原 千景
  - 社会文化部門 大河内 浩
  - 茶華香道部門 三浦 幸子
  - 趣味教養部門 加藤 誠